

安養寺地区社会福祉協議会 **地区社協だより** (第5号)

<地区社協会長のあいさつ>



安養寺地区にお住いのみなさま、新年あけましておめでとうございます。

安養寺地区は自由ヶ丘、若葉ハイツ、安養寺上、安養寺第一の4つの町内会が大堤沼を囲むように位置する地区です。1200世帯ほどの小さな地区ですが、子育て世帯も多く、見守りや支えの必要な高齢者も増えており、震災で被災した転入者も迎えた地区でした。

小規模だからこそ、住民同士の顔の見える関係もでき、4町内会の壁を越えて、身近な話題や出来事を共有しながら、話し合いがしやすい地区でもあります。

これからも、地区全体で地域生活問題を共有し、ともに支え合い、安心して暮らせる安養寺らしい地域づくりを目指しましょう。



出典は「まるっとつるがや地元学グループ『鶴ヶ谷』」から

これは江戸時代の鶴ヶ谷再現マップから、安養寺地区を拡大したものです。

中央に大堤沼がありますね!!!皆さんの家の位置はだいたい分かるでしょうか?

安養寺3丁目から榊江、東仙台六丁目と推定される「安養寺」という寺社が由来で、一体が「安養寺山」と言われました。現在の鶴ヶ谷団地は伊達藩のお狩場（鷹狩の場所）だったので、開拓のための入植は戦後にはじまりました。低い里山ながら起伏が激しく、沼や沢が点在し土質は良くないので農地に不向きでしたが、水に恵まれた自然豊かな土地でした。フナや沼エビもとれたそうです!

昭和30年代、南光台団地開発の3年後、入植者の共同山（薪炭林）を造成したのが自由ヶ丘団地です。以来、第2、第3自由ヶ丘の造成、昭和44年に若葉ハイツ団地の開発が始まり、大堤沼も姿も変えて現在に至っています。江戸時代から続く安養寺の歴史ですね。

皆さんも、この自然豊かな「安養寺」という地名と生活に一層、愛着をもっていただければ幸いです。

<各町内会(杜協の各小地域)会長から新春ごあいさつ>

安養寺上 鈴木会長

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は定期総会で認めていただいた事業計画を全て予定通り実行することが出来ました。町内会会員のご協力のお陰です。あらためて感謝申し上げます。

また、私事ですが、昨年11月、「町内会長勤続10年表彰」の表彰状を郡仙台市長より直々に戴きました。長らく町内会長の責務を続けてこられたのも、町内会会員の皆様のご支援があってこそと感謝申し上げます。

今年度も早いもので3ヶ月を残すのみです。予定した活動計画は滞りなく実施していきたいと思いますので、寒い日が続きますが、更なるご協力宜しくお願い致します。



自由ヶ丘 一井会長

新年あけましておめでとうございます。当社協に賜りました皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新春を迎え、新たな気持ちで社協活動に取り組みます、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年も、登校見守り活動は元気な子どもたちの明るい挨拶で始まりました。バス通りの二つの交差点では安養寺地区の大勢の子どもたちと出会います。「おはよう」「いってきます」と挨拶を交わしながら、子どもたちの成長を見守り、元気をもらう大切なふれあいの場所です。

「冬来たりなば春遠からじ」

寒さ厳しい時期ですが健康第一で楽しく、「ふれあいのまち」づくりに取り組みましょう！



若葉ハイツ 小野会長

新年あけましておめでとうございます。

私が若葉ハイツに来たのは18歳の時で51年目を迎え、町内会長になってから7年目となりました。年の過ぎるのは早いものです。

私の母は97歳になりますが、アルツハイマー型認知症と診断されて12年目を迎えました。今も元気に過ごしています。

私は民生委員も兼務していますので、認知症に不安を持っている方やご家族に、自分の経験も踏まえてアドバイスができると思います。

いつも、愛犬とともに町内パトロールしています。会ったら声をかけてください。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



大堤沼

安養寺第一 菅原会長

新年明けましておめでとうございます。

日頃より皆様には町内の垣根を越えた活動にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

正月を迎えるたびに、友達の年賀状の一節に添えられた「置かれた場所で咲きなさい！」を思い出します。どんなところに置かれても花を咲かせる心をもち続けましょうとのメッセージです。

私はこの自然が残る安養寺にご近所さんたちのやさしいまなざしを感じながら過ごすこと60年になります。これからも、この土地で花を咲かせる心という言葉大切にしながら、ご近所と一緒に過ごしていきたいと思います。

今年は町内対抗ボッチャ大会が計画されています。ぜひ子供達の交流も深めながら、「むこう三軒両隣」支え合いの心が根づいてくれますよう本年もお願い申し上げます。



<赤い羽根共同募金運動の結果を報告します>

安養寺地区募金会

令和6年度も共同募金運動にご協力をいただき深く感謝申し上げます。結果は右表のとおりです。

みなさまからいただいた募金は、今後、地域の福祉施設や団体の活動に活かされるとともに、社会福祉協議会活動の地域の支え合いの貴重な財源となります。



<令和6年度赤い羽根共同募金寄付実績> (円)

区分	自由ヶ丘	若葉ハイツ	安養寺上	安養寺第一
本年度募金額	191,900	55,680	43,800	35,800
前年度募金額	194,500	58,320	42,300	37,500
前年度対比	△2,600	△2,640	1,500	△1,700

<令和6年度 福祉委員・ふれあいサンの集いを開催しました>



- 福祉委員とふれあいサンは、安否確認や日常生活支援が必要な人たちを地域で支える活動を率先して行っています。
- 現在、31名の方が委嘱を受けて、日頃の活動を行っています。
- この「集い」では、令和6年度の上半期の活動実績を振り返り、課題を拾い上げ、より良い活動につなげるために集まりました。

とき：令和6年11月10日 ところ：自由ヶ丘集会所

- ★ 当日は、アドバイザーとして下記の3名の方に助言をいただきました。ぜひ、皆さんも身近な支援が必要な方々に支えの手を差し伸べてください。

<助言者のアドバイス>

【小松島地域包括支援センター 細谷保健師】：安養寺第一・安養寺上町内会グループに参加して

ふれあいサンの活動は、見守る責任に負担を感じないように、まずはご近所付き合いの延長でつながり続けること、いつもと変わったことがあった際に複数の人と情報共有していくことが重要です。最近、独居高齢者宅に屋根リフォーム業者が入り込んだ時や植木剪定に飛び込みで入った業者を近隣の方が早期に気づき対応する等、消費者被害の早期発見・対応につながるケースがありました。

消費者被害予防・犯罪抑止・容体急変等の緊急時対応は、ためらわずお願いします。

【小松島地域包括支援センター 岩井所長】：自由ヶ丘町内会グループに参加して

本地区では、徘徊している方にも優しく受け止める関わりなど、地区全体が認知症に対して理解が深いと感じます。今後気になる出来事があった時は、例えば民生委員に情報を集約し、民生委員から地域包括やケアマネに情報共有するツールを作り、早期に関係者で検討できればいいですね。

本地区には震災後100世帯が転入してきました。顔の見える関係作りの交流会を再開したいとの意見も出されました。活動再開のきっかけになるのではと感じています。

【仙台市社協宮城野区事務所 伊藤 CSW】：若葉ハイツグループに参加して

安養寺地区では近年様々な新しい事業にチャレンジされるなど活発さを感じます。そこに、安養寺地区のお宝(強み)を感じることがあります。

ひとつは、様々な立場の方が会話する機会を作っていること。町内会長はじめ、民生委員、福祉委員、ふれあいサンなどが、顔を合せたり、挨拶したり、会話する機会を多く作っています。これが、活動を生み出す原動力になっていると感じます。

もう一つは、地域の規模が小さいことです。これは意見集約や課題共有がしやすいという良い面があります。また、新たな取組みを始める際に、「まずはやってみよう」と考えやすいのもメリットです。ぜひ今後も安養寺地区の皆さんが、その強みを活かして、様々な取組みを育てていただければと思っています。

告知「町内会対抗ポッチャ大会」の開催予定

さあ皆さん！ いよいよ「町内会対抗ポッチャ大会」が**3月上旬！**に開かれます！

各町内会からの代表「シニアチーム」と「ジュニアチーム」が競います。4町内会のトップになるのはどこでしょう？！

練習して実力アップ！



告知「子育て支援のための地域懇談会」の開催

健やかな子どもたちの成長を願って、安養寺地区の子育て課題を共有し、具体的な実行に向けて関係者が話し合います。

と き：2月8日（土）午前10時予定

ところ：自由が丘集会所

関係者のみなさん、よろしく!!!

○ 小松島地域包括支援センター(岩井所長)からのお知らせ

自宅内での温度変化に気を付けましょう・・・

1. ヒートショックとは

家の中の急激な温度差が身体へ悪影響をもたらします。急激な温度変化で血圧が変化し、失神や心筋梗塞、脳梗塞、あるいは入浴中の死亡となる場合があります。

2. 入浴時の血圧の変化

暖かい室内 ⇒ 寒い脱衣所 ⇒ 寒い浴室 ⇒ 熱めの浴槽
(血圧安定) (血圧上昇) (血圧さらに上昇) (血圧急低下)

3. ヒートショックを防止するには

- ①室内温度は18～22度に
(冬場の室外と室内の温度差は10度以上あります！)
- ②トイレ・洗面所・脱衣所・浴室は使用時に暖かくしておく
例) 浴室の床に風呂のお湯や温かいシャワーをかける
- ③廊下は裸足でなく、靴下やスリッパを活用する
- ④飲酒直後・食直後・内服直後には入浴しない
- ⑤お湯の温度は41度以下に設定
足元から「かけ湯」をして循環を良くしてから浴槽に入る
浴槽からすぐに立ち上がらない



○ 幸町地区民児協(鈴木副会長)からのお知らせ

「わいわいハッピー劇団による認知症の寸劇」が鶴小で！

「わいわいハッピー劇団」は、安養寺地区や自由ヶ丘地区の民生委員も属する「幸町地区民生委員児童委員協議会」のメンバーを中心とした劇団です。アドリブを盛り込んだ演技で、認知症に対する理解を深め、正しい対応の仕方を学んでもらおうと各地で寸劇を実践しています。

今回、劇団は鶴ヶ谷小学校4年生の児童全員(76名)に寸劇を披露しました。認知症の母親とその家族の対応に笑いがあふれ、自然と認知症の理解が進んでいきます。小松島地域包括支援センターの保健師さんに、DVD鑑賞も含めて3時間目の授業として行われました。

4年生のお子さんを持つご父兄の皆様、ぜひ、お子さんに感想を聞いてみてはどうでしょう？

